

2023 年度事業報告

学校法人
大阪星光学院

学校法人大阪星光学院 2023 年度事業報告書
(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

I. 法人概要

学校法人大阪星光学院は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創立者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

1. 設立年月日

昭和 25 年 12 月 22 日

2. 設置する学校及び生徒数

学校	学年	定員数	生徒数*	転退
大阪星光学院中学校	1 年	200	193	3
	2 年	200	190	1
	3 年	200	183	1
大阪星光学院高等学校	1 年	200	196	5
	2 年	200	170	5
	3 年	200	181	0
合計		1200	1113	15

*生徒数は 2024 年 3 月 1 日現在

3. 設置する学校の所在地

学校法人大阪星光学院

〒543-0061 大阪府大阪市天王寺区伶人町1番6号

4. 教職員の概要 (2023 年 5 月 1 日現在)

	教員					職員				
	本務		兼務		計	本務		兼務		計
中学校	教員	30	非常勤講師	3	33	事務職員	2	南部管理	1	3
	養護	1	特別非常勤講師	2	3	受付	1	カウンセラー	1	2
						営繕	2	渉外広報	1	3
高等学校	教員	31	非常勤講師	4	34	事務職員	3	カウンセラー	1	4
	養護	1	特別非常勤講師	0	1	受付	1	山荘管理	1	2
								営繕	1	1
合計		63		9	72		9		6	15
2022 年度		63		9	72		10		6	16

5. 役員の概要（2023年6月1日現在）

定員：理事6人以上8人以内、監事2人以上3人以内

理事長	鈴木英史（前大阪星光学院中学校・高等学校校長）
理事	田沢幸夫（大阪星光学院中学校・高等学校校長）
常任理事	野出明敬（元大阪星光学院学院中学・高等学校教頭）
々	井上末廣（前大阪星光学院学院中学・高等学校事務長）
理事	北川純二（サレジオ小学校・中学校校長）
々	長岡洋一（学校法人サレジオ学院顧問）
々	辻家直樹（サレジオ志願院 院長）
監事	福井善昭（福井司法書士事務所 司法書士）
々	大平浩司（税理士）

6. 評議員の概要（2023年6月1日現在）

定員：13人以上16人以内 現在16人

鈴木英史、田沢幸夫、北川純二、辻家直樹、長岡洋一、野出明敬、井上末廣、吉田利満、
範国平次、宮本浩司、小寺史郎 吉田博史 川村卓士 網野省三 東浦丞示 村田正志

II. 事業の概要

1. 教育の充実

1) ミッションスクールとして宗教教育の充実

- ・宗教教育委員会が核となって学院全体の宗教・倫理教育の充実をはかり、生徒、保護者を通じて福音的価値観を社会に発信した。
- ・特に1月のドン・ボスコ記念の行事を充実させ、この他にも学校全体で参加できるような宗教行事を実施。
- ・教職員にカトリック教育に関する研修会を年2回、新任教職員には4月から夏休みまで月2回実施。
- ・毎朝のショートホームルームでの司祭を中心に講話と宗教教育委員会の先生による「主の祈り」、毎週1時間の倫理の授業、校外行事を通して福音的価値観の理解の徹底を図った。また、保護者を対象に聖書教室を開き、あわせて学院の教育理念の理解を求めた。

上記4点は、達成できた。

2) 学校法人城星学園との連携協力確認書の履行。

3) 中高一貫教育の充実

日々の授業の充実、部活動等の活性化を図るとともに、校内に併設する小崎研修館・南部学舎・黒姫星光山荘での約5泊6日を単位とする校外行事を実施予定であった。南部学舎はほぼコロナ禍以前の状態に戻して実施した。黒姫星光山荘は夏期休暇中の行事のみ内容を変更し日程を短縮して実施した。スキー教室は、黒姫星光山荘での開催は中止し、代案として白鳥高原（岐阜県）を利用して実施した。十分ではないが、教職員と生徒、また生徒どうしの相互理解を深める機会が得られた。

4) 学力向上

中高の6ヵ年一貫教育による「理解と信頼」を基に、心の教育を土台として知的な教育につなげ、将来「世の光」として働ける人材を育てていくことをモットーにという姿勢を重視した。コロナ禍に対して、出来る限りの感染対策を実施し、通常授業を行った。今後は、六ヶ年を総合的に見通した新たな教育システムの導入と本校特有の積み上げてきた教育プログラムを融合して行く事が求められる。

六ヶ年の成長段階に合わせた下記の教育プログラムの実践

- ・ 第一期（中学１・２年）は基本的生活習慣を確立し、基礎学力の充実を図り土台を固め、多様な価値観を容認するおおらかな心を養うよう指導。
- ・ 第二期（中学３年・高校１年）は第一期で築いた土台の上に立ち、関心領域を積極的に拡大しながら考える力を伸ばし、自分の適性の発見に努められるように指導。
- ・ 第三期（高校２・３年）は理系・文系に分かれ、各自の進路実現に向け、学力の更なる充実を図るとともに、社会的存在としての自覚を促す指導。

この教育プログラムにより生徒を把握し、生徒の成長指導に資するようにした。コロナ禍の制限の残る中でも学校補習授業を実施、保護者・生徒との面談を行い、学力向上にもつなげた。残念ながら補習合宿は期間を縮小して実施、多方面の講演会は実施した。今年度の大学入試は以下のとおりであった。今後も、生徒の希望する進路確保に努める。

年度	2023 年度（69 期生）					
卒業生	181 名					
現・既卒別	現役	医学部	既卒	医学部	計	医学部計
国公立大学	91	24	56	11	166	42
私立大学	69	11	209	22	278	33

文科省管轄外大学校

防衛医大	1 (6)	1 (6)	1	1	2 (6)	2 (6)
防衛大学校	1		0		1	

(): 一次のみ合格

◇主な大学別合格者(2023 年 5 月現在)

年度	2022 年度(68 期)					
68 期卒業生数	198					
現・既卒別	現役	医学部	既卒	医学部	計	医学部
東京	10		4		14	
京都	24	1	13	1	37	2
大阪	10	3	4	1	14	4
神戸	12	3	4		16	3
一橋大	1		4		5	
東京工業大			1		1	
北海道	3		3		6	
東北大	1	1			1	1
筑波大	1	1			1	1
千葉大	1				1	
富山大			1		1	
滋賀大	1				1	
京都工繊大	1		3		4	
鳥取大			1	1	1	1

徳島大	1	1			1	1
香川大	1	1			1	1
宮崎大			2	1	2	1
国立計	67	11	41	4	108	15
名古屋市立大	1		1		2	
岐阜薬科大			2		2	
京都府立医	2	2			2	2
大阪公立大	14	4	9	1	23	5
奈良県立医	2	2	1	1	3	3
和歌山医大	5	5	1	1	6	6
北九州大			1		1	
公立計	24	13	15	3	39	16
慶応大	2		11	1	13	1
早稲田大	7		12		19	
中央大	3		1		4	
東京理科大	4		14		18	
同志社大	16		38		54	
関西学院大	4		14		18	
関西大	4		9		13	
立命館大	9		29		38	
大阪医科大	4	4	4	4	8	8
関西医科大	1	1	8	8	9	9
その他	15	6	69	10	84	16
私学計	69	11	209	22	278	33
総計	160	35	265	29	425	64

防衛医科大	1 (6)	1 (6)	1	1	2 (6)	2 (6)
防衛大学校	1				1	
計	2 (6)	1 (6)	1	1	3 (6)	2 (6)

() : 一次のみ合格

5) クラブ活動の活性化

クラブ活動も学習とともに学校生活を豊にするものであります。多数の生徒がクラブ活動に参加している。

＜文科系クラブ＞ 中学生：195名 高校生：193名

＜運動系クラブ＞ 中学生：392名 高校生：304名

クラブ名	中	高	計	クラブ名	中	高	計	クラブ名	中	高	計
天文	13	2	15	美術	11	17	28	バスケットボール	44	31	53
ライフサイエンス	29	27	56	新聞	0	0	0	バレーボール	19	9	28
電気工学	14	5	19	文芸	0	0	0	テニス	55	60	115
化学	10	12	22	カトリック研究会	3	1	4	卓球	44	29	73
物理	9	7	16	書道	1	0	1	野球（高）		41	41
地歴研究	13	16	29	囲碁将棋	30	11	41	野球（中）	38		38
数学研究	11	8	19	クイズ研究会	25	1	26	ホッケー	40	26	66
E S S	8	16	24	合唱同好会	2	5	7	柔道	43	8	51
放送	0	9	9	ボランティア	3	26	29	弓道	6	8	14
吹奏楽	4	18	22	けん玉同好会	0	6	6	サッカー	66	47	113
写真	9	6	15	陸上	20	29	49	剣道	17	16	33

(2023年6月現在)

2. 2024 年度生徒募集状況（2024 年中学 1 月、高校 2 月実施）について

1) 《大阪星光学院中学校》

インターネット出願を実施。受験生の出願手続き及び入学金手続きの利便性が向上。インターネット出願による受験生の戸惑い等はほとんどなく実施。

- ・城星学園小学校生対象の特別選抜入試を実施

<入試科目>

I 型：4 科型（国語・算数・理科・社会）

- ・4 科目の合計点、国語・算数・理科の合計×1.25、国語・算数・社会の合計×1.25 の内最高点を本人の成績とする。

II 型：3 科型（国語・算数・理科）

- ・3 科目の合計点×1.25 を本人の成績とする。

<合格発表> 受験者（I 型＋II 型）の成績上位より定数を合格発表する。

2) 《大阪星光学院高等学校》

インターネット出願を実施。受験生の出願手続き及び入学金手続きの利便性が向上。

インターネット出願による受験生の戸惑い等はほとんどなく実施。

入学手続きを、専願生と併願生で分けた。専願生は合格発表後すぐ、併願生は公立高校の発表を待って手続きさせた。

<入試科目> 国語、数学、英語、社会、理科 専願者のみ面接試験

<配 点> 国語 120 点、数学 120 点、英語 120 点、社会 70 点、理科 70 点
英・数・国・理・社 5 教科の評定と音・美・体・技 4 教科の評定

<選抜方法> 入学試験結果と評定と面接結果で判定

<入試結果概要>

中学（75 期生）			高等学校（72 期生）	
年度	2024 年度生		2024 年度生	
	I 型	II 型	専願	併願
志願者数	518	189	11	17
受験者数	495	166	11	17
合格発表者数	228	72	9	16
合格最低点	252.5			
競争率	2.4			
実質競争率	2.2			
特別選抜合格者	3			
入学者数	192		9	1
			内部進学者	178

3) 《渉外部の広報活動》

- ・インターネット出願の説明を 5 月頃より開始、
- ・渉外部の小中学校・塾主催の説明会や講演会への参加
- ・塾向け学校内の広報活動を実施
- ・2024 年度学院案内作成
- ・オープンスクール
- ・学校説明会

3. 主な事業

《教 務》

(1) 各学年主な行事一覧

学 校	対 象	時 期	行 事
中 学	1	4月/6月	研修館合宿（第1期～10期）2泊3日
		5月	遠足（神戸海洋博物館・神戸どうぶつ王国）
			消防訓練
			人権映画 部落問題 映画「破戒」
		7月	和楽器体験授業
			山荘合宿 前班 7/29～8/1 後班 8/2～5
		8月	プール教室（城星学園）
		9月	芸術鑑賞（管楽器アンサンブル）
		10月	南部授業合宿 10/16～21
		11月	SF
			生駒山ハイキング
		2月	耐寒登山（葛城山）
			ドン・ボスコ記念ミサ
		3月	スキー教室（前班 3/7～3/12・後班 3/12～3/17）
		4月	遠足（大阪府青少年海洋センター）
		5月	消防訓練
			人権映画 部落問題 映画「破戒」
	2	7月	山荘合宿 前班 7/20～24 後班 7/25～29
		9月	南部授業合宿 9/11～16
			芸術鑑賞（管楽器アンサンブル）
		11月	SF
			出前授業（大阪地方検察庁）
		2月	スキー教室（前班 2/5～7・後班 2/7～9）
			ドン・ボスコ記念ミサ
			英語暗唱大会
		3月	登山（六甲山）
		5月	消防訓練
			人権映画 部落問題 映画「破戒」
			遠足（京都 光雲寺・京都大学）
	3	6月	南部授業合宿（5泊6日）
		7月	修学旅行（長崎）
		8月	南部勉強合宿 8/16～21

高
校

1

9月	芸術鑑賞（管楽器アンサンブル）
11月	SF
	ちゅうぶ障害者センター赤おにとの交流会・講演会
1月	SMBC 講演会（貯蓄、投資、資産形成）
2月	ドン・ボスコ記念ミサ
	英語暗唱大会
	マラソン大会（大泉緑地公園）
3月	卒業式
4月	南部勉強合宿（2泊3日）高入生・希望者
5月	消防訓練
	人権映画 部落問題 映画「破戒」
	遠足（伊賀の里モクモク手づくりファーム）
7月	南部家庭科合宿 前班 7/20～24 後班 7/26～30
8月	山荘合宿 前班 8/20～23 後班 8/24～27
9月	芸術鑑賞（管楽器アンサンブル）
10月	自殺予防教育講演会
	弁護士授業（法教育）
11月	「ハロー！会計」（公認会計士講座）
	いのちの授業（自殺予防教育講演会）
	SF
12月	スキー教室（菅平高原 12/25～29）希望者
2月	ドン・ボスコ記念ミサ
	英語暗唱大会
	デートDV 講演
	テーブルマナー実習
3月	合唱発表会
5月	遠足（京都）
	消防訓練
	人権映画 部落問題 映画「破戒」
6月	修学旅行 3泊4日 北海道（トマム・然別・札幌・小樽）
8月	南部勉強合宿 8/1～6
9月	芸術鑑賞（管楽器アンサンブル）
11月	講演会（HIV 感染症など）
	SF
	SMBC 講座
	遠足（神戸）
12月	金融リテラシー検定

2

3	2月	ドン・ボスコ記念ミサ
		思春期教室（講演会）
		バレーボール大会（東大阪アリーナ）
	3月	南部勉強合宿（4泊5日）希望者
	5月	校外行事（USJ）
		消防訓練
		人権映画 部落問題 映画「破戒」
	6月	講演（近畿大学入試センター 大学受験に対する心構え）
	8月	南部勉強合宿 8/23～28
	9月	芸術鑑賞（管楽器アンサンブル）
	10月	講演「受験期におけるメンタル面の注意点」
	2月	ドン・ボスコ記念ミサ
	3月	卒業式

（2）各種大会代表

- 文部科学大臣杯第19回小中学校将棋団体戦 西日本大会団体戦 大阪府代表
山田悠都・森田雄策・香月悠・塚本勘太・中谷豊・塚幸仁
- 近畿中学校総合体育大会 テニスの部 大阪府代表 奥村惺
- 第19回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2023
銀賞 小林悠大
- 第43回近畿高等学校総合文化祭 将棋部門 団体戦 大阪府代表
西出裕克・居内秀憲・平瑛祥
- 化学グランプリ 2023
銀賞 竹内悠人
- 第5回文武両道杯全国高等学校柔道大会 第3位
中川 仁・矢野健真郎・小原絃達・小野翔司・中野智裕

《主な経費支出について》

新校舎建設後 10 年超経過による経年使用劣化が、同時期に生じることによる修繕経費支出が増額となった。南部学舎、黒姫星光山荘の修理と新規設備の導入等必要となった。

ア. 経費支出

新校舎建設後 10 年超経過による経年使用劣化が同時期に生じることによる修繕経費支出が継続している。南部学舎、黒姫山荘の修理と新規設備の導入等が必要となった。

(1) 消耗品費

① (web 配信用) Zoom2.0 30 ライセンス	442,200 円
② 冷却水処理剤レジオクラッシュ	247,500 円
③ (図書館) 人権用デスク 3 台・ソファ	85,000 円

(2) 通信運搬費

○インターネット利用料	1,069,200 円
-------------	-------------

(3) 修繕費

【本 校】

○外壁改修工事 (Ⅱ期)	68,150,000 円
--------------	--------------

【南 部】

○トイレ手洗場修繕工事 (後援会助成)	1,538,000 円
---------------------	-------------

【山 荘】

① 防排煙制御設備工事他	1,557,600 円
② 外壁塗装工事	1,485,000 円
③ 雪害損傷個所修繕工事 (共済金あり)	1,219,000 円
④ 旧修道院屋根修繕工事 (共済金あり)	3,239,500 円

(4) 損害保険料

【本 校】

○個人情報漏洩保険 (AIG 損保㈱)	627,000 円
---------------------	-----------

【南 部】

○企業財産保険 (地震) 保険 (1 年) (AIG 損保㈱)	4,020,400 円
---------------------------------	-------------

(5) 報酬委託手数料

① 警備・施設管理・清掃委託料 (シミス・ビルライフケア関西)	26,086,000 円
② 放送設備更新工事	15,290,000 円
③ 校内システム保守他 (パナソニック)	3,022,000 円
④ 空調設備保守点検業務委託料 (タキイチ)	2,088,000 円
⑤ 教員派遣料 (2 人) (エデュケーションネットワーク)	5,240,000 円
⑥ 職員派遣料 (2 人) (パソナ)	2,490,000 円
⑦ 生徒用端末 i-FILTER (中 1・高 1)	2,850,485 円
⑧ 中高入試 Web 出願利用料 (エデュケーションネットワーク)	1,390,000 円
⑨ 労務管理に関する相談 (社労士)	660,000 円
⑩ 医薬品・環境衛生に関する相談 (薬剤師)	120,000 円
⑪ (南 部) 耐震改修工事	86,773,500 円
⑫ (南 部) 耐震工事に伴う設計監理業務	4,730,000 円

(6) 行事費

○ (芸術鑑賞) 金管楽器鑑賞

463,520 円

※学校負担分のみ

(7) 賃借料

○ (食堂) 券売機リース代

291,000 円

イ. 施設設備関係支出

(1) 機器備品支出

① (各クラス) iPad 端末 21 台

2,999,950 円

② (印刷室) 丁合機・製本折機

1,430,000 円

③ (グラント他) ウォータークーラー3 台

488,400 円

⑤ (南 部) 食堂テーブル 45 台

1,691,800 円

⑤ (南 部) 食堂椅子 60 脚

722,920 円

(2) 車両支出

○ (山 荘) 軽トラック

1,141,140 円

ウ. 資産運用支出

○減価償却引当特定資産繰入支出

40,000,000 円

Ⅲ. 財務の概要

以下に記載した財務の概要は、学校法人会計基準に基づき作成した計算書類を要約したものです。

1. 資金収支計算書（2023年4月1日～2024年3月31日）

収入の部		(単位 千円)			
科 目	2023 年度予算	2023 年度決算	差 異	2022 年度決算	前年度比
生徒納付金収入	765,494	765,426	68	771,511	6,085
手数料収入	15,060	15,069	△ 9	15,356	△287
寄付金収入	25,950	23,557	2,393	23,848	△291
補助金収入	386,042	386,695	△653	402,254	△15,559
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業	305	59	246	0	59
受取利息・配当金収入	4,978	5,043	△65	3,015	
雑収入	43,310	43,287	23	25,226	18,061
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	124,600	124,900	△300	126,300	△1,400
その他の収入	13,908	13,980	0	153,536	△139,628
資金収入調達勘定	△140,300	△164,325	24,025	△137,708	△26,617
前年度繰越支払資金	197,869	197,869	0	188,978	8,891
収入の部合計	1,437,216	1,411,488	25,728	1,572,316	△160,828

支出の部		(単位 千円)			
科 目	2023 年度予算	2023 年度決算	差 異	2022 年度決算	前年度比
人件費支出	939,496	939,509	△13	854,538	84,971
経費支出	346,300	344,181	2,119	251,253	92,928
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	0	0	0	9,231	△9,231
設備関係支出	9,928	9,493	435	30,216	△20,723
資産運用支出	44,937	44,937	0	220,924	△175,987
その他の支出	110	524	△414	8,394	△7,870
予備費	0	0	0	0	0
貸金支出調整勘定	△ 500	△ 88	△ 412	△ 109	21
翌年度繰越支払資金	96,945	72,932	24,013	197,869	△124,937
支出の部合計	1,437,216	1,411,488	25,728	1,572,316	△160,828

2. 事業活動収支計算書（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

①教育活動収支

（単位千円）

教育活動収入	2023 年度			2022 年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
生徒納付金	765,494	765,426	68	771,511	6,085
手数料	15,060	15,069	△9	15,356	△287
寄付金	15,950	12,989	2,961	14,205	△1,216
補助金	386,042	386,695	△653	390,434	△3,739
付随事業収入	305	58	247	0	58
雑収入	43,310	43,287	23	25,226	15,061
教育活動収入計	1,226,161	1,223,524	2,637	1,216,732	6,792

教育活動支出	2023 年度			2022 年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
人件費	944,432	944,446	△14	866,169	78,277
経費	457,038	450,004	7,034	378,402	71,701
（内減価償却額）	110,000	104,356	5,644	125,604	△21,248
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	1,401,470	1,394,450	6,921	1,244,571	149,978
教育活動収支差額	△175,309	△170,926	△4,284	△27,839	△143,186

②教育外活動収支

（単位千円）

教育外活動収入	2023 年度			2022 年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
受取利息・配当金	4,978	5,043	△65	3,015	2,028
その他収入	0	0	0	0	0
教育活動外収入計	4,978	5,043	△65	3,015	2,028

教育外活動支出	2023 年度			2022 年度	
科目	予算	決算	差異	決算	差異
借入金等利息	0	0	0	0	0
その他支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	4,978	5,043	△65	3,015	2,028

③特別収支

特別収入

(単位千円)

科目	2023 年度			2022 年度	
	予算	決算	差異	決算	差異
資産売却差額	0	0	0	0	0
その他の特別収入	10,030	10,851	△821	21,840	△10,989
特別収入計	10,030	10,851	△821	21,840	△10,989

特別支出

(単位千円)

科目	2023 年度			2022 年度	
	予算	決算	差額	決算	差異
資産処分差額	10	183	△173	578	△395
その他の特別支出	0	0	0	0	0
特別支出計	10	183	△173	578	△395
特別収支差額	10,020	10,668	△648	21,262	△10,594

	2023 年度 (単位千円)			2022 年度	
	予算	決算	差異	決算	差異
基本金組入前当年度収支差額	△ 160,311	△ 155,215	△ 5,096	△3,563	△151,652
基本金組入額合計	△ 48,756	△7,002	△ 41,754	0	△7,002
当年度収支差額	△ 209,067	△ 162,217	△ 46,850	△ 3,563	△158,654
前年度繰越収支差額	△883,185	△883,185	0	△885,029	1,844
基本金取崩額	0	0	0	5,407	△5,407
翌年度繰越収支差額	△1,092,252	△1,045,402	△46,850	△883,185	△162,217

(参考)

事業活動収入計	1,241,169	1,239,418	1,751	1,241,586	△2,168
事業活動支出計	1,401,480	1,394,633	6,847	1,245,149	149,484

3. 貸借対照表 (2024 年 3 月 31 日)

資産の部

(単位千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,446,046	4,497,340	△51,294
有形固定資産	2,357,256	2,449,861	△92,605
土地	88,205	88,205	0
建物	1,940,609	2,011,258	△70,649
構築物	157,553	169,113	△11,560

機器備品	71,579	83,836	△12,257
図書	98,340	97,449	891
車輛	970	0	970
特定資産	2,026,809	1,981,872	44,937
減価償却引当	1,929,299	1,889,299	40,000
退職金引当	97,510	92,573	4,937
その他の固定資産	61,981	65,607	△3,626
電話加入権	554	554	0
ソフトウェア	3,744	6,173	△3,626
有価証券	39,877	39,877	0
保険積立金	14,000	14,000	0
長期前払費用	3,806	5,003	△1,197
流動資産	211,263	311,877	△100,614
現金預金	72,932	192,869	△124,937
未収入金	38,025	13,908	24,117
金銭信託	100,000	100,000	0
仮払金	306	100	206
資産の部合計	4,657,308	4,809,217	△151,909

負債の部

(単位千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	97,511	92,574	4,937
長期未払金		0	0
退職給与引当金	97,511	92,574	4,937
流動負債	155,359	156,989	△1,630
未払金	88	109	△21
前受金	124,900	126,300	△1400
預り金	30,371	30,580	△209
負債の部合計	252,870	249,563	3,307

純資産の部

(単位千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	5,449,841	5,442,839	7,002
第1号基本金	5,368,841	5,361,839	7,002
第4号基本金	81,000	81,000	0
繰越収支差額	△1,045,402	△883,185	△162,217
翌年度繰越収支差額	△1,045,402	△883,185	△162,217
純資産の部合計	4,404,438	4,559,654	△155,216
負債及び純資産の部合計	4,657,308	4,809,217	△151,909